

令和2年度

事業報告書  
会計決算報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

令和2年度

# 事業報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

# 令和2年度 事業報告書

自 令和2年4月1日  
至 令和3年3月31日

本年度の令和3年3月31日現在における事業実施状況は、次のとおりである。

## 1. 会員

令和3年3月31日現在の会員数は次のとおりである。

会員数	23 会員
・地区乗馬倶楽部振興会	20 会員
・目的賛同団体	3 団体

## 2. 乗馬施設・乗用馬・乗馬指導者等登録事業

乗馬施設等登録規定に基づく登録は次のとおりであり、乗馬施設の登録は前年との差異が7乗馬施設の増加(15乗馬施設増、8乗馬施設減)、乗用馬登録は前年との差異が105頭の増加、乗馬指導者は前年との差異が4名の増加であった。

乗馬施設	283 施設	【別表1】
乗用馬	5,203 頭 (令和2年4月末時点の登録数)	
乗馬指導者	1902 名 (上級B 137・W 12名、中級B 237・W 24名、初級B 1,417・W 75名)	

【別表1】 令和2年度 登録乗馬施設数の推移

	地区	各地区乗馬倶楽部振興会 都道府県別登録乗馬施設数	令和2年度				令和 元年度
			乗馬 施設数	入会	退会	(うち 休会)	
1	北海道	北海道21	21				21
2	東北	青森3(1) 岩手2 山形2 宮城4 秋田1 福島1	13	2	1	(1)	12
3	北関東	栃木9 茨城16 群馬5	30	3	2		29
4	埼玉	埼玉12	12				12
5	千葉	千葉30	30	2			28
6	東京	東京5	5				5
7	神奈川	神奈川20	20				20
8	北陸	新潟2 富山0 石川2 福井2	6		1		7
9	長野	長野9	9		1		10
10	山梨	山梨9	9				9
11	静岡	静岡18	18	1			17
12	東海	愛知10 岐阜3	13	1	1		13
13	東近畿	三重7 奈良5	12				12
14	京阪	滋賀5 京都6 大阪8 和歌山2	21	2			19
15	兵庫	兵庫8	8				8
16	中国	岡山5 広島9 鳥取1 島根1 山口4	20				20
17	四国	香川2 愛媛2 高知1 徳島1	6		1		7
18	北部九州	福岡12 佐賀1	13	3	1		11
19	中九州	大分4 熊本5 長崎1	10				10
20	南九州	宮崎1 鹿児島4 沖縄2	7	1			6
	合計		283	15	8	(1)	276

【新規登録乗馬クラブ】 15 件

ZeN riding club	(東北地区 : 山形県)
前森高原フロンティアファーム	(東北地区 : 山形県)
STABLE AMIEST	(北関東地区 : 茨城県)
Effort Stable	(北関東地区 : 茨城県)
Stable Liebling	(北関東地区 : 群馬県)
乗馬クラブクレイン千葉富津	(千葉地区 : 千葉県)
バラードールドレスサーージュステーブル	(千葉地区 : 千葉県)
(株)TOMA 牧之原乗馬クラブ	(静岡地区 : 静岡県)
犬山乗馬クラブ	(東海地区 : 愛知県)
乗馬クラブグラシアス	(京阪地区 : 大阪府)
四季乗馬クラブ	(京阪地区 : 和歌山県)
IYOTA ホースクラブ	(北部九州地区 : 福岡県)
SR Showhorse Stable	(北部九州地区 : 福岡県)
Dressage プラスオール福岡	(北部九州地区 : 福岡県)
かわなべ馬事公苑	(南九州地区 : 鹿児島県)

【退会乗馬クラブ】 8 件

ルネサンス棚倉乗馬クラブ	(東北地区 : 福島県)
アドバンス・ホースパーティ	(北関東地区 : 栃木県)
水戸乗馬クラブ	(北関東地区 : 茨城県)
富山乗馬クラブ	(北陸地区 : 富山県)
谷乗馬クラブ	(長野地区 : 長野県)
アオイ乗馬クラブ	(東海地区 : 愛知県)
(株)ブリタニア乗馬倶楽部	(四国地区 : 高知県)
むなかた乗馬クラブ	(北部九州地区 : 福岡県)

【休会乗馬クラブ】 1 件

乗馬クラブアクシス [2 年目]	(東北地区 : 青森県)
------------------	--------------

### 3. 諸会議等

令和 2 年度に開催した主な会議等は、次のとおりである。

《総会の開催》

定時社員総会	6 月 30 日 議題 1. 令和元年度事業報告 2. 令和元年度会計決算報告 3. 役員改選
--------	---

臨時社員総会	令和 3 年 3 月 23 日 (WEB 会議) 議題 1. 理事辞任に伴う後任理事の選任について
--------	---

《理事会の開催》

第 1 回理事会	理事が提案した事項に理事会が同意したみなし理事会決議 ・ 理事会の決議があったものとみなされた日 4 月 27 日 ・ 理事会の決議があったものとみなされた内容 議題 1. 乗馬施設等登録規程に係る特例措置の実施について
----------	---

第 2 回理事会	理事が提案した事項に理事会が同意したみなし理事会決議 ・ 理事会の決議があったものとみなされた日 5 月 26 日 ・ 理事会の決議があったものとみなされた内容 議題 1. 令和 2 年度定時社員総会に付議する議案について 2. 令和 2 年度定時社員総会の開催について 3. 規程の改正について
----------	---

第3回理事会	理事が提案した事項に理事会が同意したみなし理事会決議 ・理事会の決議があったものとみなされた日 6月9日 ・理事会の決議があったものとみなされた内容 議題 1. 令和2年度定時社員総会開催日の変更について
第4回理事会	6月30日 議題 1. 代表理事及び業務執行理事の選定 2. 顧問の選出について 3. 職員給与規程改正について
第5回理事会	理事が提案した事項に理事会が同意したみなし理事会決議 ・理事会の決議があったものとみなされた日 10月27日 ・理事会の決議があったものとみなされた内容 議題 1. 乗馬施設再貸付事業の貸付について
第6回理事会	理事が提案した事項に理事会が同意したみなし理事会決議 ・理事会の決議があったものとみなされた日 12月21日 ・理事会の決議があったものとみなされた内容 議題 1. 令和2年度事業計画の変更及び収支補正予算について 2. 公益目的事業の内容の変更について
第7回理事会	令和3年2月24日（WEB会議） 議題 1. 令和3年度事業計画・収支予算について 2. 理事辞任に伴う後任理事の選任について 3. 令和2年度臨時社員総会の開催について 4. 参与の選出について
第8回理事会	令和3年3月23日（WEB会議） 議題 1. 業務執行理事の選定について 2. 参与の選出について
《その他の会議等の開催》 常務理事会 地区会長会議	6月30日、令和3年2月24日（WEB会議） 令和3年3月23日（WEB会議）

#### 4. 人事関係

令和2年度における役員等の異動は、次のとおりであった。

選任	理事(会長)	武宮 忠彦	(6月30日)
〃	理事(副会長)	衛藤 賢二	(6月30日)
〃	理事(副会長)	草野 信一	(6月30日)
〃	理事	秋山 徹	(6月30日)
〃	理事	細野 茂之	(6月30日)
〃	理事	八木 由里	(6月30日)
〃	理事(専務)	阿部 憲二	(令和3年3月23日)
退任	理事(会長)	細野 利昭	(6月30日)
〃	理事	佐野 佳久	(6月30日)
〃	理事	丹澤 太良	(6月30日)

- 〃 理事 前田 昭 (6月30日)
- 〃 理事(専務) 山口 洋史 (令和3年3月23日)

※当協会の顧問として細野利昭氏を選任した。(6月30日)

## 5. 乗馬普及事業

広く一般市民に乗馬普及を図るため下記事業を行った。

### (1) 大衆と馬とのふれあいタイム推進事業

日本中央競馬会(以下「JRA」という。)からの助成を受け、地域の児童から高齢者に至るまでを対象に、行政機関や教育機関、地域社会等と連携し一般市民が馬とふれあう機会を増加させ、馬の持つ魅力を広く伝えるとともに地域振興等に有意義であると認められる事業を主催もしくは協力した乗馬施設に対して補助金を交付しており、事業の実施件数は54件であった。

なお、事業推進委員会を9月23日、令和3年2月19日に開催した。

### (2) 被災地支援等のための馬とのふれあい活動事業

JRAからの助成を受け、被災した地域の住民と馬とのふれあい活動を行うことにより、被災地の子供及び家族に明るく元気になってもらい、心身の健全な発展に寄与する事業を実施した。実施件数は現地訪問型57件、乗馬施設招致型59件であった。

なお、被災地支援等のための馬とのふれあい活動事業推進委員会を9月23日、12月16日に開催した。

### (3) 乗馬技能認定事業

#### ① 乗馬技能認定

乗馬愛好者の乗馬技術の向上意欲を図り、また効率的で安全な指導を行うため乗馬技能認定を行い、合格者に認定証を交付した。

なお、申請者数は8,634名、合格者8,413名であり、審査回数は3,168回、技能認定審査実施乗馬施設数は157施設であった。 【別表2】

【別表2】令和2年度 乗馬技能認定結果

(単位：名)

級 / 年度		令和2年度		令和元年度		前年度比
審査回数		3,168		1,702		186.1%
乗馬クラブ数		157		157		100.0%
5級	申請者数	4,653		5,755		80.9%
	合格者数・率	4,649	99.9%	5,753	100.0%	80.8%
ウエスタン5級	申請者数	28		32		87.5%
	合格者数・率	27	96.4%	31	96.9%	87.1%
4級	申請者数	1,931		2,352		82.1%
	合格者数・率	1,921	99.5%	2,347	99.8%	81.8%
ウエスタン4級	申請者数	19		13		146.2%
	合格者数・率	17	89.5%	13	100.0%	130.8%
3級	申請者数	1098		1,439		76.3%
	合格者数・率	997	90.8%	1,254	87.1%	79.5%
ウエスタン3級	申請者数	17		10		170.0%
	合格者数・率	16	94.1%	8	80.0%	200.0%
エンデュランス3級	申請者数	17		27		63.0%
	合格者数・率	17	100.0%	27	100.0%	63.0%
3級障害	申請者数	188		223		84.3%
	合格者数・率	178	94.7%	213	95.5%	83.6%
2級障害	申請者数	127		151		84.1%
	合格者数・率	126	99.2%	144	95.4%	87.5%

級 / 年度		令和2年度		令和元年度		前年度比
2級馬場	申請者数	434		545		79.6%
	合格者数・率	363	83.6%	448	82.2%	81.0%
ウエスタン2級	申請者数	4		1		400.0%
	合格者数・率	4	100.0%	1	100.0%	400.0%
エンデュランス2級	申請者数	5		8		62.5%
	合格者数・率	4	80.0%	5	62.5%	80.0%
1級障害	申請者数	10		2		500.0%
	合格者数・率	7	70.0%	0	0.0%	—
1級馬場	申請者数	103		125		82.4%
	合格者数・率	87	84.5%	96	76.8%	90.6%
ウエスタン1級	申請者数	0		0		—
	合格者数・率	0	—	0	—	—
エンデュランス1級	申請者数	0		0		—
	合格者数・率	0	—	0	—	—
合計	申請者数	8,634		10,683		80.8%
	合格者数・率	8,413	97.4%	10,340	96.8%	81.4%

なお、技能認定1・2級合格者のうち、(公社)日本馬術連盟の定める騎乗者資格B級への移行措置者は138名であった。【別表3】

【別表3】 令和2年度 日本馬術連盟騎乗者資格 B級移行者数 (単位:名)

技能認定	障害		馬場		エンデュランス		合計
	1級	2級	1級	2級	1級	2級	
人数	0	79	6	51	0	2	138
	79		57		2		
移行先	B級		B級馬場馬術限定		B級エンデュランス限定		

② ポニーライダー技能認定

中学生以下を対象として馬との親和性を図るため、また、乗馬技術の向上とポニーを使った技能認定を行い、合格者に認定バッジを交付した。認定登録者数は234名であった。【別表4】

【別表4】 令和2年度 ポニーライダー登録者数 (単位:名)

級 / 年度	令和2年度	令和元年度	前年度比
5級	113	165	68.5%
4級	48	57	84.2%
3級	22	46	47.8%
2級	22	30	73.3%
1級	29	11	263.6%
合計	234	309	75.7%

(4) 普及乗馬大会

① 全国普及乗馬大会

一般市民を対象として、乗馬技術の向上と相互交流を図るため、6月に御殿場市馬術・スポーツセンターで開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症のため中止とした。

② 地区普及乗馬大会

一般市民を対象にした各地区の乗馬大会を共催し、15地区振興会、1団体会員で開催した。なお、5地区(北関東地区、神奈川地区、山梨地区、長野地区、四国地区)は、開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症のため中止とした。

(5) 乗用馬取扱講習会事業

一般市民を対象とした講習会の開催を検討していたが、コロナウイルス感染症予防のため、中止とした。

(6) 乗馬普及広報事業

乗馬の健全な普及を図るため、乗馬に関する情報等をホームページに掲載し、広く乗馬の魅力を発信する他、様々なイベントを利用して広報に努め、地区乗馬倶楽部振興会等で実施する試乗会や普及乗馬大会等を地区乗馬倶楽部振興会のホームページやマスコミにも積極的に広報するよう依頼した。

また、本協会の活動内容を広く周知する為、本協会のロゴ・名前等を記入したノベルティや小冊子の配布を行った。

6. 乗馬施設関係事業

(1) 乗馬施設再貸付事業

乗馬施設等が乗馬普及に必要な動産の整備を行うにあたり、申請書に基づき審査の上、(公財)畜産近代化リース協会から本協会がこれらを借り受け、乗馬施設等に再貸付を行った。

16 乗馬施設へ 33 件、取得価格総額 94,563,700 円の乗馬施設再貸付を実施した。 【別表 5】

【別表 5】令和 2 年度 (公財) 畜産近代化リース協会関係 事業実施状況 (新規)

乗馬クラブ名	機械施設名	数量	取得価格 (円)	契約日(上段) 貸付開始日(下段)
エバーグリーンホースガーデン	トレーニングマシン	1	8,360,000	2月6日 5月1日
カナディアンキャンプ乗馬クラブ	ホイルローダー	1	4,658,500	5月14日 5月1日
〃	乗鞍	10	1,639,000	5月14日 6月1日
(株)ホースブリッジ	ウォーキングマシン	1	11,770,000	6月10日 6月1日
(有)成田乗馬倶楽部	細霧システム・送風機	3	680,900	7月9日 7月1日
(有)トレジャーズファーム ちばシティ乗馬クラブ	簡易式厩舎・ 簡易式馬場柵	2	2,657,600	4月10日 8月1日
蒜山ホースパーク	トラック	1	11,649,000	5月27日 8月1日
長谷川ライディングファーム	ワゴン車	1	3,153,700	7月15日 8月1日
静岡乗馬クラブ	軽トラック	1	1,501,500	7月17日 9月1日
藤沢乗馬クラブ	送風機	1	4,567,200	9月11日 9月1日
STABLE AMIEST	ウォーキングマシン ・簡易式馬場柵	3	9,433,600	9月25日 10月1日
フォレストライディング	ウォーキングマシン	1	12,361,800	10月1日 10月1日
アバロン・ヒルサイドファーム	散水施設・給湯器	2	6,820,000	10月30日 11月1日
(公社)東京乗馬倶楽部	馬房マット	1	3,524,400	10月26日 12月1日
ドレッサージュ・ステーブル・テルイ	ホイルローダー	1	3,190,000	12月23日 12月1日
ライディングクラブフジファーム	スキッドステアローダー	1	1,727,000	10月12日 令和3年2月1日

乗馬クラブ名	機械施設名	数量	取得価格 (円)	契約日(上段) 貸付開始日(下段)
ドレッサージュ・ステーブル・テルイ	ワゴン車	1	3,349,500	12月16日 令和3年3月1日
犬山乗馬クラブ	ホイルローダー	1	3,520,000	令和3年1月12日 令和3年1月1日
合 計	16 施設	33 件	94,563,700	

(2) 乗馬施設費利子補給事業

乗馬施設等が借入金で新規に乗馬施設の整備を行う場合、申請書に基づき書類審査及び現地確認を行い、適正であった案件を利子補給対象としている。

なお、平成20年度から新規の応募は受け付けていない。

(3) 優良乗馬施設認定事業

利用者の安全や周辺環境等に配慮した優良乗馬施設を認定するため、申請に基づき現地調査及び優良乗馬施設認定審査委員会の審査を経て乗馬施設を新規に認定すると共に、更新申請がある乗馬施設を認定するため、令和3年3月16日に優良乗馬施設認定審査委員会を開催した。164乗馬施設が認定されている。

## 7. 乗用馬整備関係事業

(1) 乗用馬防疫推進事業

(公財)全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて事業を行った。

軽種馬防疫協議会が推奨する要領により、馬インフルエンザ、日本脳炎及び破傷風の予防ワクチンを所定のプログラムに基づいて接種が確認された馬4,919頭に対し、予防接種費の補助金を交付した。

登録乗用馬における馬インフルエンザ、日本脳炎および破傷風等の伝染性疾病に対する防疫体制の確立のため、令和3年3月10日にJRA新橋分館において第1回「乗用馬防疫推進委員会」を開催した。

(2) 乗馬活動保険推進事業

JRAからの助成を受け、乗馬活動中に発生する様々なトラブルによる問題に対処するため、乗馬クラブが加入する傷害・賠償保険金額(年間)に対し、乗用馬防疫推進事業におけるワクチン接種馬の保有頭数に応じて補助金を交付した。

(3) 在来馬乗用化推進事業

在来馬を乗用馬として安全に活用するため、在来馬保存会、在来馬飼養管理者を対象とした馴致・調教の講習会を行った。

・現地講習会

会 場：クバカ城跡・荷川取牧場など(沖縄県宮古島市)

日 程：12月8日～12日

宮古馬の飼養管理者を対象に初期馴致ならびに基礎調教を指導

参 加 者：14人(延べ人数)

・集合講習会

全国の在来馬飼養管理者・公設動物園担当者を一堂に介して実施する集合講習会については、新型コロナウイルス感染症のため、本年度の開催を見送った。

(4) 馬の流通に係る若手後継者の育成調教技術向上推進事業

(公財)全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて下記の事業を行った。

① 事業推進委員会開催事業

最終年度のため、馬の流通に係る若手後継者の育成調教技術向上推進委員会を令和3年3月17日に開催し、最終達成目標に対する自己評価を確認した。

② 馬の流通に係る若手後継者の育成調教技術向上推進事業

馬産地においてこれまで講習を行った人材の中から優れた人材を活用して、各地域の生産団体によって選抜された若馬に対し乗用馬として付加価値を向上させ市場に送り出すための馴致調教を行うことと併せて、若手後継者が若馬の育成調教技術の習得に取り組んだ。

また、各地域において事業の進捗状況の確認と、正しい調教技術を普及伝達するために、事業期間中に本協会有資格者指導者を派遣して現地指導を行った。十勝地域においては6月に現地指導を予定していたが新型コロナウイルス感染症予防のため、都道府県境をまたぐ人の移動自粛要請がなされていたため延期し、令和3年3月1日に座学による講習会を実施した。

遠野地域：10月21日～27日	参加者：4名
十勝地域：令和3年3月1日	参加者：4名
根釧地域：9月26日～29日	参加者：3名

(5) 引退競走馬等の馬の多様な利活用普及推進事業

1) 馬の多様な利活用を推進する講習会開催等事業

JRAの助成を受け、全国各地において実施されている馬を活用した活動において、安全に馬を取り扱える人材の養成等のため、障がい者・ホースセラピー、観光・地域振興、子ども・教育に関する講習会等を開催した。

・講習会の開催

① 「馬と共に生きる」

会 場：離宮かやのもり周辺（奈良県桜井市）  
日 程：7月11日～12日  
参 加 者：60名（延べ人数）

② 「スポーツ流鏝馬による地域興しに関するワークショップ」

「流鏝馬指導者養成セミナー」  
会 場：十和田乗馬倶楽部他（青森県十和田市）  
日 程：7月15日～17日  
参 加 者：40名（延べ人数）

③ 「馬活用（ポニー4頭の活用と地域興し・動物介在活動）」

会 場：大阪府立農芸高等学校（大阪府堺市）  
日 程：7月22日  
参 加 者：34名

④ 「馬の多様な利活用を推進するための講習会」

会 場：あわしま牧場（新潟県岩船郡粟島浦村）  
日 程：9月5日～6日  
参 加 者：26名（延べ人数）

⑤ 「障がい者が馬を楽しむための講習会」

会 場：特定非営利活動法人障害者のための馬事普及協会ピルエット（栃木県宇都宮市）  
日 程：11月2日～3日  
参 加 者：講習会37名（延べ人数）

⑥ 「ホースセラピー活動を安全に実施するために」

会 場：岐阜県立岐阜農林高等学校（岐阜県本巣郡北方町）  
日 程：11月6日～7日  
参 加 者：75名（延べ人数）

⑦ 「農芸祭でのホースショー発表」

会 場：大阪府立農芸高等学校（大阪府堺市）  
日 程：11月6日～8日  
参 加 者：40名（延べ人数）

- ⑧ 「ポニーの安全な取り扱いと活用」  
 会場：愛媛県立野村高等学校（愛媛県西予市）  
 日程：11月10日～11日  
 参加者：96名（延べ人数）
- ⑨ 「さとやまでの馬の利活用について」  
 会場：矢田山自然塾（奈良県大和郡山市）  
 日程：11月14日～15日  
 参加者：43名（延べ人数）
- ⑩ 「大学馬術部が社会貢献活動として行うホースセラピー」  
 会場：法政大学（東京都町田市）  
 日程：12月6日  
 参加者：26名

・事業推進委員会の開催

（第1回：1月31日）、第2回：9月10日、第3回：12月21日、第1回：令和3年3月26日

2) 障がい者乗馬・ホースセラピー活動を支援するための事業

JRAの助成を受け、広く国内に障がい者乗馬・ホースセラピー活動を普及する為、安全性を始めとする馬の取り扱いや適切な対応がとれるよう、海外より講師を招いての講習会を開催する事業であるが、新型コロナウイルス感染症のため、講習会の開催を見送り、事業推進委員会を実施した。

・事業推進委員会の開催

（第1回：2月6日）、第2回：4月6日（中止）、第3回：12月21日、  
 第1回：令和3年2月12日

3) 民間における引退競走馬の利活用促進等に関する事業

JRAの助成を受け、乗馬クラブ等で引退競走馬がより受け入れられるよう、転用促進等を活発化させるための環境づくりや方向性について検討し、事業を円滑に運営するための事業推進委員会等を開催した。

国内の講師を招いての引退競走馬の更なる乗馬や馬術における活用と転用促進を目的とした講習会を開催した。また、引退競走馬をより一層、乗馬や馬術で活用させるために、全国13大会で引退競走馬のみの競技種目に対して引退競走馬所有者奨励金を授与した。

・講習会の開催

「引退競走馬でリオデジャネイロオリンピック総合馬術競技に出場したボイド・マーティン氏の講習会」

以下の3ヶ所で開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症のため、講師の渡航が困難なため中止とした。

- ① 会場：ノーザンホースパーク（北海道苫小牧市）  
 ② 会場：御殿場市馬術・スポーツセンター（静岡県御殿場市）  
 ③ 会場：三木ホースランドパーク（兵庫県三木市）

「ナチュラルホースマンシップを取り入れた持田裕之氏の引退競走馬のリトレーニング講習会」

- ① 会場：乗馬クラブスタリオンステーブル（香川県綾歌郡）  
 日程：8月18日～20日  
 参加者：79名（延べ人数）
- ② 会場：岡山乗馬倶楽部（岡山県加賀郡）  
 日程：9月8日～9日  
 参加者：66名（延べ人数）
- ③ 会場：福井ホースパーク（福井県福井市）  
 日程：9月29日～30日  
 参加者：53名（延べ人数）

- ④ 会 場：福岡県馬術競技場（福岡県古賀市）  
日 程：10月6日～7日  
参加者：35名（延べ人数）
- ⑤ 会 場：乗馬クラブエクセラ（秋田県大仙市）  
日 程：10月13日～14日  
参加者：56名（延べ人数）
- ⑥ 会 場：ノーザンホースパーク（北海道苫小牧市）  
日 程：10月20日～21日  
参加者：56名（延べ人数）

・引退競走馬所有者奨励競技会の開催

- ① 会 場：乗馬クラブクレインオリンピックパーク（奈良県天理市）  
日 程：7月11日  
申込数：馬場馬術17頭
- ② 会 場：福岡県馬術競技場（福岡県古賀市）  
日 程：7月25日  
申込数：障害馬術12頭
- ③ 会 場：御殿場市馬術・スポーツセンター（静岡県御殿場市）（パートⅠ）  
日 程：8月8日  
申込数：障害馬術22頭
- ④ 会 場：岡山乗馬倶楽部（岡山県加賀郡）  
日 程：8月23日  
申込数：障害馬術23頭
- ⑤ 会 場：仙北市馬術競技場（秋田県仙北市）  
日 程：9月27日  
申込数：障害馬術17頭
- ⑥ 会 場：ノーザンホースパーク（北海道苫小牧市）  
日 程：10月3日  
申込数：障害馬術20頭
- ⑦ 会 場：福井ホースパーク（福井県福井市）  
日 程：10月11日  
申込数：障害馬術19頭
- ⑧ 会 場：御殿場市馬術・スポーツセンター（静岡県御殿場市）（パートⅠ）  
日 程：10月25日  
申込数：馬場馬術17頭
- ⑨ 会 場：御殿場市馬術・スポーツセンター（静岡県御殿場市）（パートⅡ）  
日 程：10月25日  
申込数：障害馬術38頭
- ⑩ 会 場：水口乗馬クラブ（滋賀県甲賀市）  
日 程：10月25日  
申込数：障害馬術41頭
- ⑪ 会 場：三木ホースランドパーク（兵庫県三木市）  
日 程：10月31日  
申込数：障害馬術37頭
- ⑫ 会 場：中島トニアシュタール（茨城県東茨城郡）  
日 程：11月23日  
申込数：障害馬術44頭

- ⑬ 会 場：J R A馬事公苑（東京都世田谷区）  
日 程：12月6日  
申 込 数：障害馬術30頭（各障害10地域大会の上位馬3頭を集めたファイナル）

※13大会合計337頭

- ・事業推進委員会の開催  
（第1回：2月12日）、第2回：8月新型コロナウイルス感染症のため中止、  
第3回：12月7日、第1回：令和3年2月9日

- 4) 多様な馬の利活用等の取組みを支援し、発展させるための事業  
JRAの助成を受け、すでに実施されている馬の多様な利活用等に関する取組みの安定的な運営・発展を支援し、又は将来的に馬関連事業の参考事例となるような取組みや馬産業の人材養成等に資するような取組みを支援する事業として行った。  
本年度は支援対象事業検討委員会で対象となった35事業に対しての支援を行った。

- ・支援対象事業検討委員会  
（第1回：1月23日、第2回：3月19日）、第3回：9月25日、第1回：令和3年1月22日、  
第2回：令和3年3月26日

## 8. 乗馬指導者養成関係事業

一般市民を安全に乗馬指導できる乗馬関係者を養成するため、下記の事業を計画したが、新型コロナウイルス感染症のため（1）から（3）までを中止とした。

### (1) 乗馬指導者養成講習会

#### ① 初級

初級乗馬指導者資格認定試験を受験する者を対象に、乗馬に関する知識及び技術向上を目的として、ブリティッシュ部門7会場、ウエスタン部門2会場での講習会。

#### ② 中級・上級

中級・上級乗馬指導者資格認定試験を受験する者を対象に、より高度な知識及び技術の向上を目的として、ブリティッシュ部門・ウエスタン部門共に合同で東西2カ所での講習会。

### (2) 乗馬指導者資格認定

#### ① 乗馬指導者資格認定試験

ブリティッシュ部門・ウエスタン部門の各級での試験（学科・面接・実技の3課目）。

#### ② 乗馬指導者資格認定試験問題作成委員会

乗馬指導者の資格認定における試験問題の作成及び実施方法についての委員会。

乗馬指導者資格審査委員に対し、実技試験の審査眼の統一を図り、試験内容の検討のための実務研修会。

#### ③ 資格審査員研修会

乗馬指導者資格審査委員に対し、実技試験の審査眼の統一を図り、試験内容の検討のための実務研修会。

#### ④ 合否判定会議

乗馬指導者資格認定試験の合否判定会議を行い、審議終了後それぞれの資格認定試験改善のため検討会。

### (3) 乗馬指導者巡回指導

乗馬指導者資格取得者を対象に乗馬技術及び調教技術の向上を図るため、ブリティッシュ部門の巡回指導を計画した。

(4) 乗馬指導者競技会

① 全国乗馬指導者競技会

乗馬指導者の技術向上を図るため 11 月 16 日～18 日の 3 日間、2020 東京オリンピック・パラリンピックの馬術会場（新型コロナウイルス感染症のため 2021 年に大会延期）である JRA 馬事公苑（東京都世田谷区）で、ブリティッシュ部門のみ開催した。

② 各地域の乗馬指導者競技会

6 地域において一般の競技会と併せて実施した。1 地域は新型コロナウイルス感染症のため中止とした。 【別表 6】

【別表 6】 令和 2 年度 各地域の乗馬指導者競技会

開催地域	開催月日	会場
北海道	10 月 3 日～4 日	ノーザンホースパーク
東北	9 月 26 日	仙北市馬術競技場
関東	10 月 3 日～4 日	山梨県馬術競技場
北陸中部	10 月 23 日～24 日	御殿場市馬術・スポーツセンター
関西	11 月 21 日、23 日	水口乗馬クラブ
中国四国	新型コロナウイルス感染症のため中止	蒜山ホースパーク
九州	障害 11 月 22 日 馬場 令和 3 年 1 月 23 日	障害 霧島高原乗馬クラブ 馬場 上村乗馬苑

(5) 乗馬指導者資格更新講習会

既に乗馬指導者資格を取得している者を対象に乗馬指導の知識のレベルアップを図るために、今年度は新型コロナウイルス感染症のため、WEB を利用しての講習（馬の運動心理学・安全対策・指導法等）を（公社）日本馬術連盟の協力の下（テレビ会議システム「Cisco Webex」を借用）、馬事畜産会館にて 3 回開催した。

①実施日：令和 3 年 1 月 26 日 受講者 73 名

②実施日：令和 3 年 2 月 2 日 受講者 36 名

③実施日：令和 3 年 2 月 16 日 受講者 65 名

また、YouTube を利用して乗馬安全対策について（70 分）の動画を 300 名が視聴した。

9. 乗馬クラブ等活動特別支援事業

JRA の助成を受け、新型コロナウイルス感染症等の影響による社会情勢の変化により、資金が困窮している乗馬クラブ等に対しその経費等を助成する事業を行った。募集に対し申請のあった登録乗馬施設 245 件に対し補助金を交付した。

補助金交付のための事業推進委員会を令和 3 年 3 月 18 日に開催した。

〔特記事項〕

令和 2 年初頭からの新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、政府より発令された感染症対策の基本方針等を踏まえた上で、事業の一部を中止した。

令和2年度

# 会計決算報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
<b>I 資産の部</b>				
<b>1. 流動資産</b>				
現金預金	340,868,809	365,302,865	△ 24,434,056	
現金	51,521	68,065	△ 16,544	
普通預金	280,817,288	305,234,800	△ 24,417,512	
定期預金	60,000,000	60,000,000	0	
未収金	3,722,052	2,948,251	773,801	
仮払金	234,647,649	130,993,132	103,654,517	
貯蔵品	3,058,113	4,121,032	△ 1,062,919	
<b>流動資産合計</b>	<b>582,296,623</b>	<b>503,365,280</b>	<b>78,931,343</b>	
<b>2. 固定資産</b>				
<b>(1)特定資産</b>				
退職給付引当資産	32,788,334	47,022,906	△ 14,234,572	
乗馬振興事業特別積立資産	16,000,000	16,000,000	0	
再貸付事業積立資産	42,040,857	40,984,325	1,056,532	
ソフトウェア	6,893,334	8,653,334	△ 1,760,000	
<b>特定資産合計</b>	<b>97,722,525</b>	<b>112,660,565</b>	<b>△ 14,938,040</b>	
<b>(2)その他固定資産</b>				
備品	2,542,563	1,895,700	646,863	
ソフトウェア	226,262	405,543	△ 179,281	
電話加入権	372,008	372,008	0	
<b>その他固定資産合計</b>	<b>3,140,833</b>	<b>2,673,251</b>	<b>467,582</b>	
<b>固定資産合計</b>	<b>100,863,358</b>	<b>115,333,816</b>	<b>△ 14,470,458</b>	
<b>資産合計</b>	<b>683,159,981</b>	<b>618,699,096</b>	<b>64,460,885</b>	
<b>II 負債の部</b>				
<b>1. 流動負債</b>				
未払金	6,693,011	5,935,374	757,637	
仮受金	400,820,117	335,602,387	65,217,730	
預り金	1,223,640	1,079,753	143,887	
賞与引当金	4,527,297	4,320,719	206,578	
<b>流動負債合計</b>	<b>413,264,065</b>	<b>346,938,233</b>	<b>66,325,832</b>	
<b>2. 固定負債</b>				
退職給付引当金	32,788,334	47,022,906	△ 14,234,572	
<b>固定負債合計</b>	<b>32,788,334</b>	<b>47,022,906</b>	<b>△ 14,234,572</b>	
<b>負債合計</b>	<b>446,052,399</b>	<b>393,961,139</b>	<b>52,091,260</b>	
<b>III 正味財産の部</b>				
<b>1. 指定正味財産</b>	<b>6,893,334</b>	<b>8,653,334</b>	<b>△ 1,760,000</b>	
(うち基本資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )	
(うち特定資産への充当額)	( 6,893,334 )	( 8,653,334 )	(△ 1,760,000)	
<b>2. 一般正味財産</b>	<b>230,214,248</b>	<b>216,084,623</b>	<b>14,129,625</b>	
(うち基本資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )	
(うち特定資産への充当額)	( 58,040,857 )	( 56,984,325 )	( 1,056,532 )	
<b>正味財産合計</b>	<b>237,107,582</b>	<b>224,737,957</b>	<b>12,369,625</b>	
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>683,159,981</b>	<b>618,699,096</b>	<b>64,460,885</b>	

貸借対照表内訳表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科目	公益目的事業 会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計	備考
<b>I 資産の部</b>						
<b>1. 流動資産</b>						
現金預金	160,773,035	149,185,619	30,910,155		340,868,809	
現金	0	0	51,521		51,521	
普通預金	160,773,035	89,185,619	30,858,634		280,817,288	
定期預金	0	60,000,000	0		60,000,000	
未収金	3,668,143	0	53,909		3,722,052	
仮払金	233,736,359	0	911,290		234,647,649	
貯蔵品	3,058,113	0	0		3,058,113	
<b>流動資産合計</b>	<b>401,235,650</b>	<b>149,185,619</b>	<b>31,875,354</b>	<b>0</b>	<b>582,296,623</b>	
<b>2. 固定資産</b>						
<b>(1) 特定資産</b>						
退職給付引当資産	26,886,434	2,623,067	3,278,833		32,788,334	
乗馬振興事業特別積立資産	0	0	16,000,000		16,000,000	
再貸付事業積立資産	0	42,040,857	0		42,040,857	
ソフトウェア	6,893,334	0	0		6,893,334	
<b>特定資産合計</b>	<b>33,779,768</b>	<b>44,663,924</b>	<b>19,278,833</b>	<b>0</b>	<b>97,722,525</b>	
<b>(2) その他固定資産</b>						
備品	2,135,775	180,795	225,993		2,542,563	
ソフトウェア	199,791	11,765	14,706		226,262	
電話加入権	271,566	40,921	59,521		372,008	
<b>その他固定資産合計</b>	<b>2,607,132</b>	<b>233,481</b>	<b>300,220</b>	<b>0</b>	<b>3,140,833</b>	
<b>固定資産合計</b>	<b>36,386,900</b>	<b>44,897,405</b>	<b>19,579,053</b>	<b>0</b>	<b>100,863,358</b>	
<b>資産合計</b>	<b>437,622,550</b>	<b>194,083,024</b>	<b>51,454,407</b>	<b>0</b>	<b>683,159,981</b>	
<b>II 負債の部</b>						
<b>1. 流動負債</b>						
未払金	2,988,029	22,088	3,682,894		6,693,011	
仮受金	388,749,509	6,696,000	5,374,608		400,820,117	
預り金	0	529,139	694,501		1,223,640	
賞与引当金	3,712,384	362,183	452,730		4,527,297	
<b>流動負債合計</b>	<b>395,449,922</b>	<b>7,609,410</b>	<b>10,204,733</b>	<b>0</b>	<b>413,264,065</b>	
<b>2. 固定負債</b>						
退職給付引当金	26,886,434	2,623,067	3,278,833		32,788,334	
<b>固定負債合計</b>	<b>26,886,434</b>	<b>2,623,067</b>	<b>3,278,833</b>	<b>0</b>	<b>32,788,334</b>	
<b>負債合計</b>	<b>422,336,356</b>	<b>10,232,477</b>	<b>13,483,566</b>	<b>0</b>	<b>446,052,399</b>	
<b>III 正味財産の部</b>						
<b>1. 指定正味財産</b>						
<b>指定正味財産合計</b>	<b>6,893,334</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>6,893,334</b>	
(うち基本資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)		( 0)	
(うち特定資産への充当額)	( 6,893,334)	( 0)	( 0)		( 6,893,334)	
<b>2. 一般正味財産</b>						
<b>一般正味財産合計</b>	<b>8,392,860</b>	<b>183,850,547</b>	<b>37,970,841</b>	<b>0</b>	<b>230,214,248</b>	
(うち基本資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)		( 0)	
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 42,040,857)	( 16,000,000)		( 58,040,857)	
<b>正味財産合計</b>	<b>15,286,194</b>	<b>183,850,547</b>	<b>37,970,841</b>	<b>0</b>	<b>237,107,582</b>	
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>437,622,550</b>	<b>194,083,024</b>	<b>51,454,407</b>	<b>0</b>	<b>683,159,981</b>	

注) 乗馬施設活性化支援事業において(公財)畜産近代化リース協会より借受け、登録乗馬施設に貸付けを行っている再貸付物件が219,639,845円ある。

## 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
特定資産運用益	8,134	8,081	53	
特定預金受取利息収益	8,134	8,081	53	
受取入会金及び会費	3,240,000	3,290,000	△ 50,000	
受取入会金及び会費	3,240,000	3,290,000	△ 50,000	
事業収益	87,478,834	98,797,131	△ 11,318,297	
登録料収益	35,727,000	42,810,520	△ 7,083,520	
指導者資格認定試験料収益	2,443,700	2,707,400	△ 263,700	
乗馬技能認定料収益	37,636,500	45,604,380	△ 7,967,880	
参加料収益	5,714,000	0	5,714,000	
再貸付事務手数料収益	2,105,324	1,437,329	667,995	
資格認定テキスト収益	3,852,310	6,237,502	△ 2,385,192	
受取補助金等	669,506,859	360,076,303	309,430,556	
乗馬普及事業助成金	662,725,878	356,786,196	305,939,682	
乗馬普及事業助成金減価償却費振替額	1,760,000	146,666	1,613,334	
内国産馬生産奨励事業助成金	2,319,981	3,143,441	△ 823,460	
スポーツ振興くじ助成金	2,701,000	0	2,701,000	
雑収益	4,588,073	7,547	4,580,526	
受取利息収益	7,633	7,547	86	
雑収益	4,580,440	0	4,580,440	
<b>経常収益計</b>	<b>764,821,900</b>	<b>462,179,062</b>	<b>302,642,838</b>	
<b>(2) 経常費用</b>				
事業費	740,121,788	440,411,708	299,710,080	
役員報酬	5,355,000	5,361,075	△ 6,075	
給与手当	51,958,604	49,038,110	2,920,494	
社会保険料	9,614,748	9,752,142	△ 137,394	
福利厚生費	718,610	676,618	41,992	
馬とのふれあい補助費	36,069,860	31,656,498	4,413,362	
乗用馬保健衛生補助費	30,411,514	33,487,287	△ 3,075,773	
乗馬施設整備補助費	491,716,215	166,181,781	325,534,434	
競技会奨励費及び賞品費	19,496,900	13,573,412	5,923,488	
会議及び講習会費	20,481,204	28,233,587	△ 7,752,383	
旅費交通費	20,186,645	54,408,813	△ 34,222,168	
従事員賃金	8,902,519	7,055,199	1,847,320	
広報費	8,536,568	7,373,196	1,163,372	
備品及び借料費	10,781,212	7,813,817	2,967,395	
減価償却費	2,295,662	520,652	1,775,010	
消耗品費	577,199	612,793	△ 35,594	
図書印刷製本費	6,411,630	8,719,188	△ 2,307,558	
通信費	2,628,623	2,975,909	△ 347,286	
光熱及び水料	313,009	372,904	△ 59,895	
役務費	3,200,922	2,924,438	276,484	
租税公課	3,132,380	2,977,870	154,510	
雑費	2,968,857	2,675,465	293,392	
退職給付費用	4,177,987	3,848,930	329,057	
賞与引当金繰入	185,920	172,024	13,896	
管理費	10,570,487	9,949,777	620,710	
役員報酬	595,000	595,675	△ 675	
給与手当	5,773,179	5,448,679	324,500	
社会保険料	1,068,305	1,083,572	△ 15,267	
福利厚生費	79,846	75,180	4,666	

科 目	当年度	前年度	増 減	備考
会議及び講習会費	22,625	32,871	△ 10,246	
旅費交通費	327,763	376,396	△ 48,633	
従事員賃金	192,275	115,347	76,928	
備品及び借料費	1,019,969	813,851	206,118	
減価償却費	41,756	29,564	12,192	
消耗品費	42,500	52,319	△ 9,819	
図書印刷製本費	84,505	64,609	19,896	
通信費	256,833	263,204	△ 6,371	
光熱及び水料	34,779	41,434	△ 6,655	
役務費	353,825	324,937	28,888	
租税公課	2,320	2,630	△ 310	
雑費	190,128	182,736	7,392	
退職給付費用	464,221	427,659	36,562	
賞与引当金繰入	20,658	19,114	1,544	
<b>経常費用計</b>	<b>750,692,275</b>	<b>450,361,485</b>	<b>300,330,790</b>	
<b>評価損益等調整前当期経常増減額</b>	<b>14,129,625</b>	<b>11,817,577</b>	<b>2,312,048</b>	
基本財産評価損益	0	0	0	
特定資産評価損益	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
<b>当期経常増減額</b>	<b>14,129,625</b>	<b>11,817,577</b>	<b>2,312,048</b>	
<b>2. 経常外増減の部</b>				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>14,129,625</b>	<b>11,817,577</b>	<b>2,312,048</b>	
一般正味財産期首残高	216,084,623	204,267,046	11,817,577	
一般正味財産期末残高	230,214,248	216,084,623	14,129,625	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
受取補助金等	0	8,800,000	△ 8,800,000	
一般正味財産への振替額	△ 1,760,000	△ 146,666	△ 1,613,334	
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>△ 1,760,000</b>	<b>8,653,334</b>	<b>△ 10,413,334</b>	
指定正味財産期首残高	8,653,334	0	8,653,334	
指定正味財産期末残高	6,893,334	8,653,334	△ 1,760,000	
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>237,107,582</b>	<b>224,737,957</b>	<b>12,369,625</b>	

正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	合計	備考	
	乗馬普及事業	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設 活性化支援事業	共通					小計
					乗馬施設等 登録事業	乗馬施設 活性化支援事業				
<b>I 一般正味財産増減の部</b>										
<b>1. 経常増減の部</b>										
<b>(1) 経常収益</b>										
特定資産運用益	2,933	2,933	179	3,064	0	3,243	1,958	8,134		
特定預金受取利息収益	2,933	2,933	179	3,064	0	3,243	1,958	8,134		
受取入会金及び会費	1,620,000	1,620,000	0	0	0	0	1,620,000	3,240,000		
事業収益	1,620,000	1,620,000	0	0	0	0	1,620,000	3,240,000		
登録料収益	49,646,510	49,646,510	35,727,000	2,105,324	0	37,832,324	0	87,478,834		
指導者資格認定試験料収益	0	0	35,727,000	0	0	35,727,000	0	35,727,000		
乗馬技能認定料収益	2,443,700	2,443,700	0	0	0	0	0	2,443,700		
参加料収益	37,636,500	37,636,500	0	0	0	0	0	37,636,500		
再貸付事務手数料収益	5,714,000	5,714,000	0	0	0	0	0	5,714,000		
資格認定テキスト収益	0	0	0	2,105,324	0	2,105,324	0	2,105,324		
受取補助金等	3,852,310	3,852,310	0	0	0	0	0	3,852,310		
乗馬普及事業助成金	658,961,350	658,961,350	2,929,308	1,757,585	0	4,686,893	5,858,616	669,506,859		
乗馬普及事業助成金減価償却費振替額	652,180,369	652,180,369	2,929,308	1,757,585	0	4,686,893	5,858,616	662,725,878		
内国産馬生産奨励事業助成金	1,760,000	1,760,000	0	0	0	0	0	1,760,000		
スポンジ振興くじ助成金	2,319,981	2,319,981	0	0	0	0	0	2,319,981		
雑収益	2,701,000	2,701,000	0	0	0	0	0	2,701,000		
受取利息収益	6,098	6,098	372	419	0	791	4,581,184	4,588,073		
雑収益	6,098	6,098	372	419	0	791	744	7,633		
<b>経常収益計</b>	<b>710,236,891</b>	<b>710,236,891</b>	<b>38,656,859</b>	<b>3,866,392</b>	<b>0</b>	<b>42,523,251</b>	<b>12,061,758</b>	<b>764,821,900</b>		
<b>(2) 経常費用</b>										
事業費	729,663,662	729,663,662	7,225,379	3,232,747	0	10,458,126	—	740,121,788		
役員報酬	4,879,000	4,879,000	297,500	178,500	0	476,000	—	5,355,000		
給与手当	47,340,062	47,340,062	2,886,589	1,731,953	0	4,618,542	—	51,958,604		
社会保険料	8,760,103	8,760,103	534,153	320,492	0	854,645	—	9,614,748		
福利厚生費	654,733	654,733	39,923	23,954	0	63,877	—	718,610		
馬とのふれあい補助費	36,069,860	36,069,860	0	0	0	0	—	36,069,860		
乗用馬保健衛生補助費	30,411,514	30,411,514	0	0	0	0	—	30,411,514		
乗馬施設整備補助費	491,716,215	491,716,215	0	0	0	0	—	491,716,215		
競技会奨励費及び賞品費	19,496,900	19,496,900	0	0	0	0	—	19,496,900		
会議及び講習会費	20,463,103	20,463,103	11,313	6,788	0	18,101	—	20,481,204		
旅費交通費	19,762,254	19,762,254	326,062	98,329	0	424,391	—	20,186,645		
従業員賃金	8,175,418	8,175,418	669,418	57,683	0	727,101	—	8,902,519		
広報費	8,536,568	8,536,568	0	0	0	0	—	8,536,568		
備品及び借料費	9,965,236	9,965,236	509,985	305,991	0	815,976	—	10,781,212		
減価償却費	2,262,258	2,262,258	20,878	12,526	0	33,404	—	2,295,662		
消耗品費	543,199	543,199	21,250	12,750	0	34,000	—	577,199		
図書印刷製本費	5,248,579	5,248,579	1,137,699	25,352	0	1,163,051	—	6,411,630		
通信費	2,313,927	2,313,927	237,646	77,050	0	314,696	—	2,628,623		
光熱及び水料	285,186	285,186	17,389	10,434	0	27,823	—	313,009		
役員費	2,917,863	2,917,863	176,912	106,147	0	283,059	—	3,200,922		

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計				合計	法人会計	備考
	乗馬普及事業	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設等 活性化支援事業	共通				
					乗馬施設等 登録事業	乗馬施設等 活性化支援事業			
租税公課	3,130,524	3,130,524	1,160	696	0	0	1,856	3,132,380	
雑費	2,755,155	2,755,155	95,064	118,638	0	0	213,702	2,968,857	
退職給付費用	3,806,611	3,806,611	232,110	139,266	0	0	371,376	4,177,987	
賞与引当金繰入	169,394	169,394	10,328	6,198	0	0	16,526	185,920	
管理費	—	—	—	—	—	—	—	10,570,487	
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	595,000	
給与手当	—	—	—	—	—	—	—	5,773,179	
社会保険料	—	—	—	—	—	—	—	1,068,305	
福利厚生費	—	—	—	—	—	—	—	79,846	
会議及び講習会費	—	—	—	—	—	—	—	22,625	
旅費交通費	—	—	—	—	—	—	—	327,763	
従業員賃金	—	—	—	—	—	—	—	192,275	
備品及び借料費	—	—	—	—	—	—	—	1,019,969	
減価償却費	—	—	—	—	—	—	—	41,756	
消耗品費	—	—	—	—	—	—	—	42,500	
図書印刷製本費	—	—	—	—	—	—	—	84,505	
通信費	—	—	—	—	—	—	—	256,833	
光熱及び水料	—	—	—	—	—	—	—	34,779	
役員費	—	—	—	—	—	—	—	353,825	
租税公課	—	—	—	—	—	—	—	2,320	
雑費	—	—	—	—	—	—	—	190,128	
退職給付費用	—	—	—	—	—	—	—	464,221	
賞与引当金繰入	—	—	—	—	—	—	—	20,658	
<b>経常費用計</b>	<b>729,663,662</b>	<b>729,663,662</b>	<b>7,225,379</b>	<b>3,232,747</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>10,458,126</b>	<b>750,692,275</b>	
<b>評価損益等調整前当期経常増減額</b>	<b>△ 19,426,771</b>	<b>△ 19,426,771</b>	<b>31,431,480</b>	<b>633,645</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>32,065,125</b>	<b>14,129,625</b>	
基本財産評価損益	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定資産評価損益	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	
<b>評価損益等計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 19,426,771</b>	<b>△ 19,426,771</b>	<b>31,431,480</b>	<b>633,645</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>32,065,125</b>	<b>14,129,625</b>	
<b>2. 経常外増減の部</b>									
(1)経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2)経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 19,426,771	△ 19,426,771	31,431,480	633,645	0	0	32,065,125	14,129,625	
他会計振替額	20,000,000	20,000,000	△ 21,600,000	543,468	0	△ 21,056,532	1,056,532	0	
当期一般正味財産増減額	573,229	573,229	9,831,480	1,177,113	0	11,008,593	2,547,803	14,129,625	
一般正味財産期首残高	7,819,631	7,819,631	129,707,313	43,134,641	0	172,841,954	35,423,038	216,084,623	
一般正味財産期末残高	8,392,860	8,392,860	139,538,793	44,311,754	0	183,850,547	37,970,841	230,214,248	
II 指定正味財産増減の部									
一般正味財産への振替額	△ 1,760,000	△ 1,760,000	0	0	0	0	0	△ 1,760,000	
当期指定正味財産増減額	△ 1,760,000	△ 1,760,000	0	0	0	0	0	△ 1,760,000	
指定正味財産期首残高	8,653,334	8,653,334	0	0	0	0	0	8,653,334	
指定正味財産期末残高	6,893,334	6,893,334	0	0	0	0	0	6,893,334	
III 正味財産期末残高	15,286,194	15,286,194	139,538,793	44,311,754	0	183,850,547	37,970,841	237,107,582	

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用している。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用し、直接法により表示している。

#### (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は役職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。なお退職給付債務は期末要支給額に基づいて計算している。

賞与引当金は職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

#### (4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 3. 会計方針の変更

なし。

### 4. 特定資産の増減額及びその残額

特定資産の増減額及びその残額は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	47,022,906	4,642,208	18,876,780	32,788,334
乗馬振興事業特別積立資産	16,000,000	0	0	16,000,000
再貸付事業積立資産	40,984,325	1,056,532	0	42,040,857
ソフトウェア	8,653,334	0	1,760,000	6,893,334
合 計	112,660,565	5,698,740	20,636,780	97,722,525

### 5. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当預金	32,788,334	0	0	32,788,334
乗馬振興事業特別積立預金	16,000,000	0	16,000,000	0
再貸付事業積立預金	42,040,857	0	42,040,857	0
ソフトウェア	6,893,334	6,893,334	0	0
合 計	97,722,525	6,893,334	58,040,857	32,788,334

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
備 品	6,126,376	3,583,813	2,542,563
ソフトウェア（その他固定資産）	2,739,150	2,512,888	226,262
ソフトウェア（特定資産）	8,800,000	1,906,666	6,893,334
電話加入権	372,008	0	372,008
合 計	18,037,534	8,003,367	10,034,167

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
日本中央競馬会 助成金	日本 中央 競馬会	0	98,545,392	98,545,392	0	
競馬振興特別助成金 【3項④】 被災地支援等のための 馬とのふれあい活動事 業	日本 中央 競馬会	0	28,029,060	28,029,060	0	
競馬振興特別助成金 【3項⑤】 多様な馬の利活用等の 取組みを支援し、発展 させるための事業	日本 中央 競馬会	319,105,575	245,952,942	296,457,983	268,600,534	流動負債
競馬振興特別助成金 【3項⑤】 多様な馬の利活用等の 取組みを支援し、発展 させるための事業	日本 中央 競馬会	8,653,334	0	1,760,000	6,893,334	指定正味財産
競馬振興特別助成金 【3項⑥】 民間における乗馬普及 体制持続化特別支援事 業	日本 中央 競馬会	0	280,000,000	166,423,700	113,576,300	流動負債
競馬振興特別助成金 【3項①】 馬の多様な利活用を推 進する講習会開催等事 業	日本 中央 競馬会	0	10,959,386	10,959,386	0	
競馬振興特別助成金 【3項②】 障がい者乗馬・ホース セラピー活動等を支援 するための事業	日本 中央 競馬会	0	556,768	556,768	0	

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
競馬振興特別助成金 【3項③】 民間における引退競走馬の利活用促進等に関する事業	日本中央競馬会	0	31,342,075	31,342,075	0	
畜産振興事業助成金 【4項】 乗用馬防疫推進事業	全国競馬・畜産振興会	0	30,411,514	30,411,514	0	
畜産振興事業助成金 【4項】 馬の流通に係る調教技術向上推進事業	全国競馬・畜産振興会	0	2,319,981	2,319,981	0	
スポーツ振興くじ助成金	日本スポーツ振興センター	0	2,701,000	2,701,000	0	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金額
経常収益への振替額 減価償却費計上による振替額	1,760,000
合 計	1,760,000

○ 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

① 退職給付債務	32,788,334
② 会計基準変更時差異の未処理額	0
③ 退職給付引当金 (①+②)	32,788,334

(3) 退職給付費用に関する事項

① 勤務費用	4,642,208
② 会計基準変更時差異の費用処理額	0
③ 退職給付費用 (①+②)	4,642,208

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

## 付 属 明 細 書

### 1. 特定資産の明細

特定資産については、財務諸表の注記に記載している。

### 2. 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	4,320,719	4,527,297	4,320,719	0	4,527,297
退職給付引当金	47,022,906	4,642,208	18,876,780	0	32,788,334

(注) 計上の理由及び算定方法については、財務諸表に対する注記に記載している。

財産目録  
令和3年3月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	(単位:円) 金額	
<b>(流動資産)</b>					
<b>現金 預金</b>	手元保管 普通預金	三菱UFJ銀行 本店 (4口座)	運転資金として	51,521	
		三井住友銀行 経堂支店 (4口座)	運転資金として	280,817,288	
		三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店 (2口座)	〃	253,902,914	
	定期預金	三井住友銀行 経堂支店	〃	24,450,890	
		日本中央競馬会からの助成金	〃	2,463,484	
	未収金	スポーツ振興くじ助成金	〃	60,000,000	
		健康保険・厚生年金保険料の自己負担分	〃	60,000,000	
	仮払金	法人会計管理費の未収分	〃	3,722,052	
		次年度執行分の補助金 20団体	〃	967,143	
	貯蔵品	次年度事業にかかる傷害保険料等	〃	2,701,000	
次年度指導者競技会にかかる経費等		〃	53,909		
備品のレンタル料		〃	234,647,649		
	「レッツエンジョイライディング」等のテキスト類 9,756冊	〃	233,700,000		
	ポニーライダー技能認定の認定バッジ 653個	〃	894,790		
		法人会計管理費	36,359		
		乗馬普及事業のテキストの在庫	16,500		
		乗馬普及事業の認定バッジの在庫	3,058,113		
			2,505,231		
			552,882		
<b>流動資産合計</b>				<b>582,296,623</b>	
<b>(固定資産)</b>					
<b>特定資産</b>	退職給付引当資産	普通預金 三井住友銀行 経堂支店	役員に対する退職金の支払に備えた預金	32,788,334	
		定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	〃	7,788,334	
	乗馬振興事業特別積立資産	定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	乗馬普及及び振興の事業のために使用する預金	25,000,000	
		普通預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	乗馬施設活性化事業の借入れ物件に対する保障の積立預金	16,000,000	
	再貸付事業積立資産	定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	〃	16,000,000	
		普通預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	〃	42,040,857	
	ソフトウェア	定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	公益目的保有財産として6,893,334円のソフトウェアを使用している。	13,813,606	
		乗馬普及事業の総合業務システム	〃	28,227,251	
	その他 固定資産	備品	事務所パソコン及び什器類 12件	公益目的保有財産の備品は2,135,775円であり、乗馬普及事業に使用している。その他、収益事業等会計として180,795円、法人会計として225,993円の備品を使用している。	6,893,334
		ソフトウェア	乗馬指導者管理システム及び会計ソフト等 5件	公益目的保有財産として199,791円のソフトウェアを使用している。その他、収益事業等会計として11,765円、法人会計として14,706円のソフトウェアを使用している。	2,542,563
電話加入権		5回線分	公益目的保有財産の電話加入権は271,566円であり、乗馬普及事業に使用している。その他、収益事業等会計として40,921円、法人会計として59,521円の電話加入権を使用している。	226,262	
				372,008	
<b>固定資産合計</b>				<b>100,863,358</b>	
<b>資産合計</b>				<b>683,159,981</b>	
<b>(流動負債)</b>					
未払金	通信費、旅費、地区への共催金等 14件 臨時従業員への3月分給与 消費税 通信費 証明書発行手数料等 2件 通信費、消耗品費等の事務管理費 19件 社会保険料 給与手当等	乗馬普及事業の事業経費	6,693,011		
		〃	479,520		
		消費税納税分	881,409		
		乗馬施設等登録事業の事業経費	1,627,100		
		乗馬施設活性化事業の事業経費	13,288		
		法人会計管理費等の3月の経費支払分	8,800		
		役員等に対する3月の社会保険料	1,819,881		
		職員・臨時従業員に対する3月分給与等	1,134,023		
		乗馬施設等登録事業の次年度登録料	728,990		
		返金予定分	400,820,117		
仮受金	指導者登録料 558人	乗馬施設等登録事業の次年度登録料	6,696,000		
	誤入金	返金予定分	9,900		
	日本中央競馬会からの助成金	助成金未使用分の返還分	5,374,608		
	〃	乗馬普及事業の次年度分	382,176,834		
預り金	公益財団法人全国競馬・畜産振興会からの助成金	助成金未使用分の返還分	6,562,775		
	所得税	〃	1,223,640		
賞与引当金	住民税	役員及び委員等に対する3月分所得税	338,401		
	乗馬施設再貸付事業に伴う手数料及び貸付金	役員に対する3月分住民税	356,100		
		乗馬施設活性化事業の事業経費及び手形差額分の現金預かり分	529,139		
		職員に対する12～3月分の賞与分	4,527,297		
<b>流動負債合計</b>				<b>413,264,065</b>	
<b>(固定負債)</b>					
退職給付引当金	役員に対するもの	役員に対する退職金の支払に備えたもの	32,788,334		
<b>固定負債合計</b>				<b>32,788,334</b>	
<b>負債合計</b>				<b>446,052,399</b>	
<b>正味財産</b>				<b>237,107,582</b>	

# 監 査 報 告

令和3年5月18日

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

会 長 武 宮 忠 彦 殿

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

監 事 神 谷 孝 之

監 事 杉 本 修

私たち監事は、定款第23条の規定に基づき、令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。